



各地連の代表が出席した

は、成果主義の導入阻止を掲げて闘ってきた成果が、会社側が成果主義の話を聞き出すに至った。

◆東北地連 岩手放送では4月から全館禁煙になる。福島放送では、男性社員が扶養外で働いて、育児休業制度を男性が取得

女性協拡大常任委員会開く

現状報告、年末闘争状況など議論

女性協議会の各地連の代表が集まる拡大常任委員会が3月7日に行われ、各地連の現状報告や5月に行われる「全国女性のつどい」などについて議論した。以下に各地連の年末闘争の状況などをまとめる。(※各単組の状況は3月7日時点のもの)

◆北海道地連

HBCフレックスでは、部長以上の早期退職というリストが実施されたが、三〇〇四〇代が辞めていっている。札幌テレビでは、三年前に導入された「ペビシスター費用助成制度」の利用者がなく、団交でどうせこの要求も使わないのでは」と言われ、辛い闘いになった。テレビ北海道で



女性協議会

扶養している人比べ、家賃補助が極端に少ないなどの問題がある。

◆関東地連

テレビ朝日では、年末一時金の要求は受け、今年もスト同連、社長も今後の経営方針について社内説明会あり。テレビ東京は、年末一時金大幅ダウン。春夏闘では、ベア千田と管理職の休出、深夜勤務手当の増額、育児時短の小学三年生までの延長、不妊治療休暇の新設を求める。

日本テレビでは、2008年12月から所定労働時間が七時間から八時間に拡大された。これによる不利益変更がないよう闘った。また、未婚児がいる人は、一時間はやく帰宅できるよう就業規則に記載した。フレックス制度を使えば、一時間短くは有給休暇で満算できるが、職場の環境によるため記載にこだわった。

◆北信越地連

福井テレビでは、配偶者手当が戸籍筆頭者に限られているため、既婚の女性社員に配偶者手当が支給されない。また、嘱託社員の雇用延長とともに、社員登用試験の時期も延期された。富山テレビでは、育児と仕事を両立できる環境づくりを掲げ、ノー残業デー、家族の日、の徹底を進めている。テレビ信州では、育児休業制度を男性が取得

●女性協 URL
<http://www.minpororen.jp/women/index.html>

することを会社が良しとしない雰囲気があるという。

◆近畿地連

毎日放送では、男性一名が育児休業を取得。制度の理解が深まると、幹部研修や新入社員研修で周知を図っている。朝日放送では、育児勤務について、育児時

短ではなつフレックス制度を導入各局に盛り込む。関西テレビでは、春闘で育児時短の小学校六年生までの延長を要求。

◆中国地連

広島ホームテレビでは、今年女性ナ（正社員）で初めての産休取得を予定。テレビ山口では、アナウンサー以外の旧姓使用がようやく認められる見通し。愛媛朝日テレビでは、4月から二入目の女性ライン部長が誕生する。また契約社員

の女性が採用試験に受かり初めて正社員化。

◆九州地連

九州朝日放送では、アナウンサーを含め女性の採用が七年近く、二〇代の女性社員がゼロという現状がある。KBC映像では、生理休暇に会社側から女性蔑視ととれる発言があった。サガテレビでは、開局以来初の女性管理職が誕生。大分放送では、一四年ぶりに女性社員の採用があった。